

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名 株式会社 中京医薬品
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 辻村 誠
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 JQ

TEL 0569-29-0202

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,136	—	150	—	158	—	185	—
20年3月期第1四半期	2,216	4.9	63	—	69	—	△327	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	18.40	—
20年3月期第1四半期	△32.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	5,865	—	2,293	—	39.1	—	227.09	
20年3月期	5,401	—	2,141	—	39.6	—	212.05	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,293百万円 20年3月期 2,141百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	4,293	4.1	155	—	159	—	179	—	—	17.73
通期	8,303	2.4	343	89.8	349	63.7	728	—	—	72.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、2ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 - ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、2ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期 11,385,734株	20年3月期 11,385,734株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期 1,285,771株	20年3月期 1,285,768株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期 10,099,942株	20年3月期第1四半期 10,102,054株

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、サブプライムローン問題に端を発する米国の金融不安や米国経済の減速見通し、また原油をはじめとする原材料価格の高騰等により消費者マインドも悪化し景気の先行き動向には下振れリスクが高まってきております。

このような環境の中で、当企業集団は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指し、業績向上に努めるとともに、平成18年4月よりスタートした中期計画に基づいて積極的な営業政策を継続し、顧客数の拡大に取り組みながら経営基盤の強化にも取り組みました。当企業集団の中核事業であります配置販売事業においては、昨年度8営業所を統廃合するなど一層の販売費及び一般管理費の削減に取り組み強固な財務基盤の構築に努めてまいりました。また新事業開発本部におきましては売水事業が順調に拡大発展し、当企業集団の第2の柱としての基盤造りに邁進してまいりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間における連結売上高は2,136百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は158百万円（前年同期比127.3%増）また四半期純利益は185百万円（前年同期は四半期純損失327百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は5,865百万円となり、前連結会計年度末比464百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が130百万円、売掛金が214百万円増加したことによるものであります。

負債は3,572百万円となり、前連結会計年度末比312百万円増加いたしました。これは主に短期借入金50百万円増加及び賞与引当金118百万円の増加によるものであります。

また、純資産は2,293百万円となり、前連結会計年度末比151百万円増加いたしました。これは主に当第1四半期純利益185百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前期末比0.5ポイント減少し、39.1%となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

当第1四半期の連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より131百万円増加し957百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は133百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益181百万円、仕入債務の増加による収入203百万円及び売上債権の増加による支出201百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は69百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入77百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は68百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出93百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月23日に公表いたしました平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年6月26日開催の取締役会において、平成21年1月に固定資産の譲渡をすることが決定したため、平成20年6月27日付けにて通期の予想の修正を、また平成20年7月28日付けにて第2四半期の業績予想の修正を公表いたしました。詳細につきましては各々「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測に当四半期連結会計期間における著しい変化の影響を加味したものを使用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として月次移動平均法による原価法によっておりましたが当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として月次移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算書上必要な修正を行っております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,094,609	964,144
受取手形及び売掛金	797,685	596,411
有価証券	738	—
商品	391,307	307,744
委託商品	500,567	516,258
製品	535	792
仕掛品	13,911	14,423
その他	310,135	266,804
貸倒引当金	△16,290	△14,555
流動資産合計	3,093,200	2,652,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	530,555	534,854
土地	1,497,770	1,497,770
その他	15,794	17,463
有形固定資産合計	2,044,120	2,050,088
無形固定資産		
その他	29,120	28,378
無形固定資産合計	29,120	28,378
投資その他の資産		
その他	740,229	711,400
貸倒引当金	△40,763	△40,354
投資その他の資産合計	699,465	671,046
固定資産合計	2,772,706	2,749,512
資産合計	5,865,906	5,401,537

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	870,031	666,902
短期借入金	130,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	361,388	371,207
1年内償還予定の社債	69,000	69,000
未払法人税等	127,667	114,065
賞与引当金	302,196	184,000
返品引当金	35,211	23,741
その他	428,674	420,865
流動負債合計	2,324,169	1,929,782
固定負債		
社債	49,000	49,000
長期借入金	713,736	797,547
退職給付引当金	159,049	156,180
役員退職慰労引当金	322,780	323,790
その他	3,560	3,560
固定負債合計	1,248,125	1,330,077
負債合計	3,572,295	3,259,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	2,024,665	1,864,129
自己株式	△548,036	△548,047
株主資本合計	2,281,693	2,121,146
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,470	10,472
為替換算調整勘定	4,446	10,059
評価・換算差額等合計	11,917	20,531
純資産合計	2,293,611	2,141,677
負債純資産合計	5,865,906	5,401,537

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,136,110
売上原価	710,377
売上総利益	1,425,733
販売費及び一般管理費	1,274,979
営業利益	150,753
営業外収益	
受取利息	252
受取配当金	1,269
受取家賃	5,434
その他	6,086
営業外収益合計	13,043
営業外費用	
支払利息	5,051
その他	1
営業外費用合計	5,053
経常利益	158,744
特別利益	
投資有価証券売却益	24,314
特別利益合計	24,314
特別損失	
減損損失	1,462
特別損失合計	1,462
税金等調整前四半期純利益	181,596
法人税、住民税及び事業税	123,539
法人税等調整額	△127,740
法人税等合計	△4,201
四半期純利益	185,797

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	181,596
減価償却費	10,594
投資有価証券売却損益 (△は益)	△24,314
減損損失	1,462
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,144
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,259
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,010
受取利息及び受取配当金	△1,522
支払利息	5,051
為替差損益 (△は益)	△1,762
売上債権の増減額 (△は増加)	△201,293
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△58,218
仕入債務の増減額 (△は減少)	203,128
その他	125,619
小計	244,735
利息及び配当金の受取額	1,464
利息の支払額	△6,673
法人税等の支払額	△106,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△13,950
定期預金の払戻による収入	14,400
有形固定資産の取得による支出	△5,505
投資有価証券の売却による収入	77,796
貸付金の回収による収入	240
その他	△3,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	69,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000
長期借入金の返済による支出	△93,630
自己株式の取得による支出	△28
配当金の支払額	△25,249
その他	27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,913
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,120
現金及び現金同等物の期首残高	826,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	957,124

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,216,611
II 売上原価	768,190
売上総利益	1,448,420
III 販売費及び一般管理費	1,384,542
営業利益	63,878
IV 営業外収益	8,918
受取利息配当金	682
受取家賃	3,978
その他	4,258
V 営業外費用	2,947
支払利息	1,879
その他	1,068
経常利益	69,849
VI 特別利益	—
VII 特別損失	360,738
税金等調整前四半期純損失	△290,889
税金費用	36,294
四半期純損失	△327,184

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△290,889
減価償却費	10,270
減損損失	993
貸倒引当金の増加額	5,108
退職給付引当金の増加額	8,788
役員退職慰労引当金	354,398
受取利息及び受取配当金	△682
支払利息	1,879
為替差益金	222
売上債権の増加額	△296,735
棚卸資産の増加額	△12,453
仕入債務の増加額	216,505
未払消費税の増加額	35,615
その他	206,879
小計	239,900
利息及び配当金の受取額	629
利息の支払額	△3,511
法人税等の支払額	△58,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,085
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△14,400
定期預金の払戻による収入	17,100
有形固定資産の取得による支出	△31,901
無形固定資産の取得による支出	△3,627
貸付金の回収による収入	1,740
その他	9,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,418

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	130,000
長期借入金の返済による支出	△51,732
自己株式の取得による支出	△349
配当金の支払額	△25,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,662
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△512
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	208,816
VI 現金及び現金同等物の期首残高	609,321
VII 現金及び現金同等物の期末残高	818,137